THE ENVIRONMENT & AGRICULTURE NEWS

環境農業新聞

メール：ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2021年（令和３年）
10月15日（金）
第236号

毎月15日発行
平成13年4月17日
第三種郵便物認可

発行所　環境農業新聞社
編集発行人　成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041　フランス堂ビル３階
電話　03-3826-5212
FAX　03-3826-5217
年間購読料　3,000円（税・送料込）
郵便振替口座　00150-2-290578

主な記事

○…第22回JPHMAコングレス…（1面）
○…岸田内閣誕生……（2面）
○…由井名誉会長、基調講演…（4面）
○…基腐病対策に効果……（8面）

世界を襲った新型コロナのホメオパシー的対策
ＺＥＮホメオパシーで切り開く新しい未来
第22回ＪＰＨＭＡコングレス

22は完結の数字。今回は国際大会、歴史に刻まれる大会となった。東京会場参加者と記念撮影（コングレスの再配信、11月末まで延長）

大勢の海外来賓 ワクチンの中身明らかに
ネット配信含め4千名参加

日本ホメオパシー医学協会の第22回ＪＰＨＭＡコングレスは10月9日、10日の両日、東京・世田谷のＣＨｈｏｍ東京校において盛大に開催された。これはホメオパシーの学術大会で色々な病を治癒させた症例を沢山のホメオパスが症例発表するもので、今回は「世界を襲った新型コロナのホメオパシー的対策～ＺＥＮホメオパシーで切り開く新しい未来～」をテーマに海外来賓講演、ホメオパスの症例発表、由井名誉会長の基調講演、リレートークなど盛り沢山の内容で開かれた。

（関連記事4面、5面に）

由井名誉会長

松尾大会長

由井名誉会長と松尾大会長

コロナ騒動でワクチンが最後の砦のように扇動され、我こそ一番に打たなければと競いあって打っている。ワクチンパスポートも検討され、ワクチン2回打った人にサービスがあるといったことが行われ、小さい子供へのワクチンも検討しているという話も出てきている。その反面、副作用で苦しむ人も出ており、急きょワクチンを止めるというところもある。まさに恐怖を煽り、ワクチンを打たせようとしていることには変わりない。マスコミもこぞって専門家の話を取り上げ煽っている。家庭でも打つ、打たないで言い争いも起きているようだ。

そのような時に、世界から注目されている「ホメオパシー」の学術大会が開催された、テーマも「世界を襲った新型コロナのホメオパシー的対策～ＺＥＮホメオパシーで切り開く新しい未来～」と時にかなったものとなって注目された。

今回の学術大会で、語れたワクチンの中身。スパイク蛋白毒や酸化グラフェンだけでなく寄生虫に猛毒のビスマスやセレン化カドミウムまで、次々と明らかになる危険な物質。テレビでコメントする専門家やコメンテーターはワクチンの中身を知って「早く打ちましょう」と言っているのだろうか。

会場でインドのマンチャンダ長官の話を聞く

日本ホメオパシー医学協会では、明るみに出てくる事実に対応するため新しいコロナ感染症や、新ガン対策のサポート、放射線治療の害などへの対策のレメディーも考案されているとの話もあった。

会場となった東京会場、大坂会場に参加者は熱の籠もった発表を真剣に聞き入っていた。協賛企業である日本豊受自然農の農産物、化粧品を始め歯磨き粉、味噌、醤油、甘酒など加工品も取り揃え、参加者の評判も上々であった。

ネット配信では2日間で4000名を超える人達が参加した。

「コロナウイルスの恐怖を煽り、パニックに陥れている政府関係者、医療専門家、マスコミ、コメンテーター、コメンテーターに聞かせたい内容だった」との声もあるようにコロナ禍における対策が示されることにより、どのように生きていくべきかを学ぶことができる有意義なシンポジウムとなった。

今回の大会では、海外来賓として、Ｒ．Ｋ．マンチャンダ博士（インド）、アニルバン・スクル博士（タイ）、ロジーナ・ゾンネンシュミット博士（ドイツ）、マリナ・シウマス・リンブ博士（ルーマニア）、ケイト・バーチ氏（アメリカ）、トレバー・ガン氏（イギリス）等が、現地からＺＯＯＭ接続で発表した。

開会は、道繁ＪＰＨＭＡ理事より、「ＪＰＨＭＡコングレスの開会を高らかに宣言します」との開会宣言があり、本コングレスがスタートした。次に、ライブ会場の全員が起立して日本の国歌、君が代が斉唱された。その後、松尾敬子会長より、「第22回のＪＰＨＭＡコングレスが始まります。22は強い数字で、完結の数字です。このコングレスを機に世の中が変わっていくと思います。このコングレスは日頃の成果と思いを共有する場です。この2日間、皆様と共有していきたいと思います。新型コロナで皆様は予想もしなかった不安に直面したと思います。このような難題をＺＥＮホメオパシーで対応し、勇気と希望を見出せる機会になると思います。今回のコングレスは国際大会で、様々な海外の先生方から講演していただき、各国のコロナの状況や対応を共有できる機会です。さらに会員の症例発表もありますのでお楽しみいただきたいと思います。この大会がホメオパシーのさらなる歴史に刻まれる大会となるよう願いを込めて、本日開催致します。」と挨拶した。

続いて、由井寅子名誉会長より「今日はおめでたい日です。コングレスを22回も続けてこれたことは素晴らしい。日本において自己治癒力を触発するホメオパシーを続けてこれたことは皆さまのおかげで、皆さまが求めくれたからです。私はホメオパシーに加えて自然農、インナーチャイルド癒し、信仰心を含めてＺＥＮホメオパシーを作りました。新型コロナに関して、マスコミや金融機関、イルミナティなどが、恐怖を煽って、日本においても80％近くの人が予防接種を打っています。そして予防接種を打った人、打たない人の分断も起こっています。私は、予防接種を打った人も打たない人も救われるように、そして亀裂ができないように仲良くできるように、コロナやスパイク等の様々なサポートを作りました。皆様には、このような状況にめげることなく、堂々と自分のやるべきことをしっかりやっていただきたいと思います。この秋のよき日に22回を迎えら、この大会が開けることを喜んでいます」と挨拶した。